

7月4日(火)、すがすがしい晴天のもとチャレンジ・プロジェクト「石岡市の地域資源を知る体験学習」事業の一環として第1学年の生徒全員が石岡市八郷地区にある朝日里山学校で野外活動体験を行いました。生徒たちは里山学校のスタッフの方のご指導を受けながら、ジャガイモの収穫やピザづくり、ジャムづくりなどを体験しました。





生徒の感想です。「ピザ作りやじゃがいも掘りを通じて、自然とのつながりや食べ物の生産過程を学ぶことができました。じゃがいもを掘り、それを使ってじゃがバターを作るという活動は、地元の食材を活用する楽しさを体感する絶好の機会だったと思います。食べる喜びや食べ物の大切さを改めて感じることができました。」

「自分で頑張って掘ったジャガイモがとても美味しかったです。また、建物が廃校を綺麗にして使用していたのでとてもすごいと思いました。あまり畑で収穫するということはしたことがなかったのでとても貴重な体験ができてとても良かったです。」

「普段なかなか体験できないことを沢山させてもらってすごくいい経験になりました。里山がどのようなところなのかよく分かり、その中で自然を生かしていることが伝わってきました。美味しいじゃがいもを頂いたり、楽しいピザ作りを体験させていただいたりしてとても楽しい時間を過ごすことができました。」

また、7月11日(火)には事後学習を行いました。思考ツール(Yチャート)を使って体験を通じて何を学んだのかを整理し、さらに魅力を高める方法について思考ツール(三角ロジック)を使って、説得力のある主張を作りあげる授業を行いました。

2023/7/11

『石岡市の地域資源を知る体験学習』事後学習シート

今日の目標 ①「朝日里山学校」で何を学んだのかを振り返ろう。②シンキンググラフやYチャートと三角ロジックの使い方を学ぼう。

7/4(火)に行われた朝日里山学校での体験学習は、私たちが思う石岡市の魅力を実際に体験し、今後の地元に関与するきっかけを探るために行いました。実際に朝日里山学校や八郷地区の魅力は何か、また、その魅力を活かしていくにはどのようなアイデアがあるかを考えてみましょう。

1. 体験学習を通じて朝日里山学校や八郷地区や八郷地区の魅力を振り返りましょう。Yチャートを使って、3つの観点からまとめてみましょう。

①自然の魅力、人や施設の魅力、自然環境の魅力のそれぞれについて3つの観点から書きましょう。

自然の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。	自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。	自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。
人や施設の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。	自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。	自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。
自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。	自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。	自然環境の魅力 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。

②朝日里山学校や八郷地区の魅力を活かしていくアイデアを3つ考えてみましょう。

2023/7/11

2. 「朝日里山学校や八郷地区」の魅力を活かしていくためにどんな方法があるでしょうか? 三角ロジックを使って、実際に考えた主張を整理しましょう。

朝日里山学校や八郷地区の魅力を活かしていくアイデアを主張する。

主張・結論
朝日里山学校や八郷地区の魅力を活かしていくアイデアを主張する。

理由づけ
自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。

事実
自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。

体験を通じて感じた魅力を書く。 魅力を活かすためにどんなことを考えたかを書く。

グループNo.1のアイデアは? 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。

3. 振り返り 朝日里山学校や八郷地区の魅力を活かしていくアイデアを3つ考えてみましょう。

主張・結論 朝日里山学校や八郷地区の魅力を活かしていくアイデアを主張する。

理由づけ 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。

事実 自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。自然環境が素晴らしい。

体験を通じて感じた魅力を書く。 魅力を活かすためにどんなことを考えたかを書く。

三角ロジックを使って、事実→理由づけ→主張・結論の順番をつけた他者に発表することができました。発表するときにいかしてみたいと思いました。

SNSを使ったPRや地元の小中学校とのコラボレーション、宿泊施設の整備など、実際に現地で体験したことをもとに、さらに地域の魅力を高めるための高校生なりのアイデアを提案することができました。